



有機
ヤマゲン
バイオ液

Organic YAMAGEN Bio

モニター検証 2ヶ月

2024

モニター検証記録表 (2023.11.21~2024.1.18)

◆有機ヤマゲンバイオ液 散布あり 【予防目的】

- Caseサンプル(効果あり) ×7 <ハイランド×2 / ローランド×5>
- Caseサンプル(効果なし) ×4 <ハイランド×2 / ローランド×2>

◆有機ヤマゲンバイオ液 散布なし 【比較目的】

- Caseサンプル ×6 <ハイランド×1 / ローランド×5>

モニター検証 2ヵ月考察 (2023.11.21～2024.1.18)

ヤマゲンバイオ液散布区においては、一部試験エリア内でTR4に罹病した木が確認されているが、全体的には予防されており生育も良好です。

一方、比較対照エリアでは試験エリア全体がTR4に罹病したエリアもあり、被害の進行が早い状況です。

2024年5月まで試験は継続しますが、過去の実績や研究データ、今回の経過観察を考慮しても、ヤマゲンバイオ液は**TR4被害拡大予防に効果がある**と考えております。

@Juinio Farm (ハイランド)

【予防◎】 case-1

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離3.3m

◎コメント: 散布する事により感染を予防しており、しっかりと成長もしている。葉の変色も見られない。

◆2023.11.21 (初回)



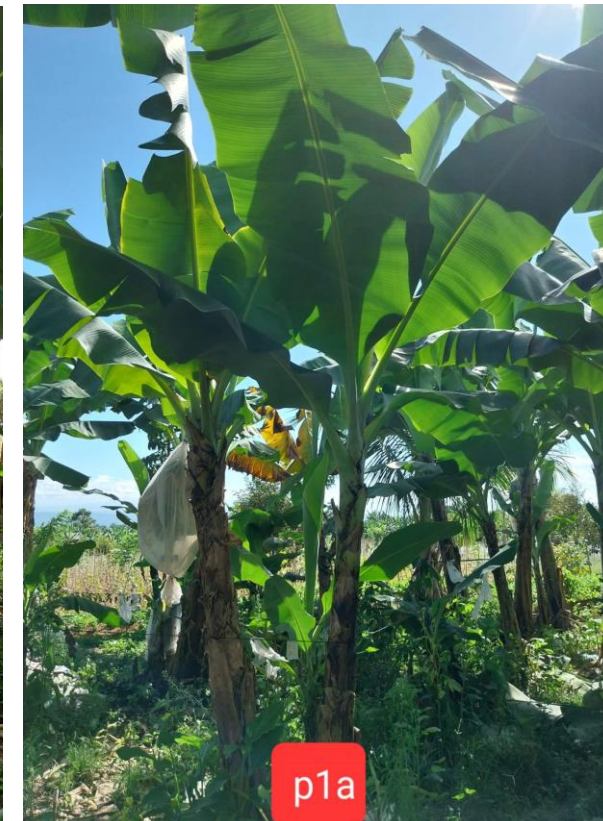
◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:p1-a

@Juinio Farm (ハイランド)

【予防◎】 case-2

<モニター検証> **有機ヤマゲン散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ **予防目的** *罹病した木との距離2.0m

<ヤコメント: 成長こそはないが、散布する事によりTR4に感染する事なく、状態を現状維持でしっかりと保っている。

◆2023.11.21 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:p2-a

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防◎】 case-3

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離1.7m

◎コメント: TR4に感染した木が近い距離にあるのにも関わらず、感染せずにバナナの木・葉ともに大きな成長が見られる。

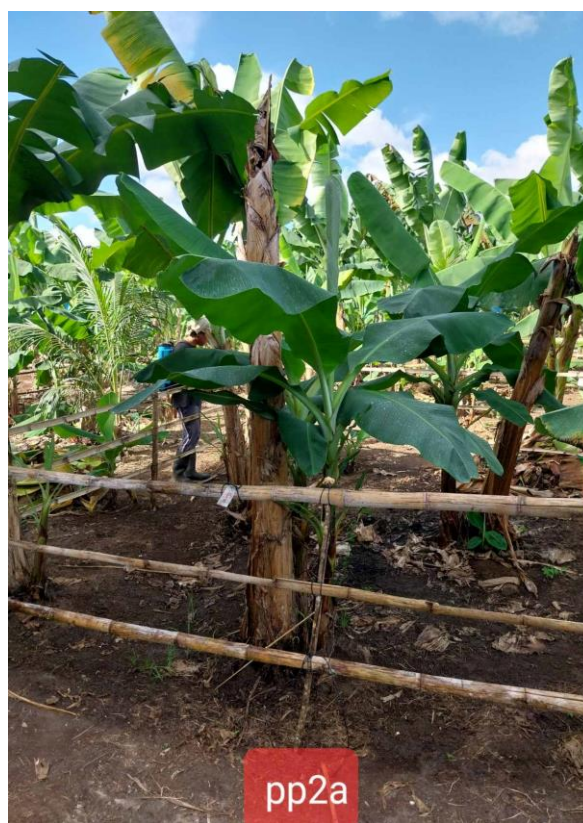
◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp2-a

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防◎】 case-4

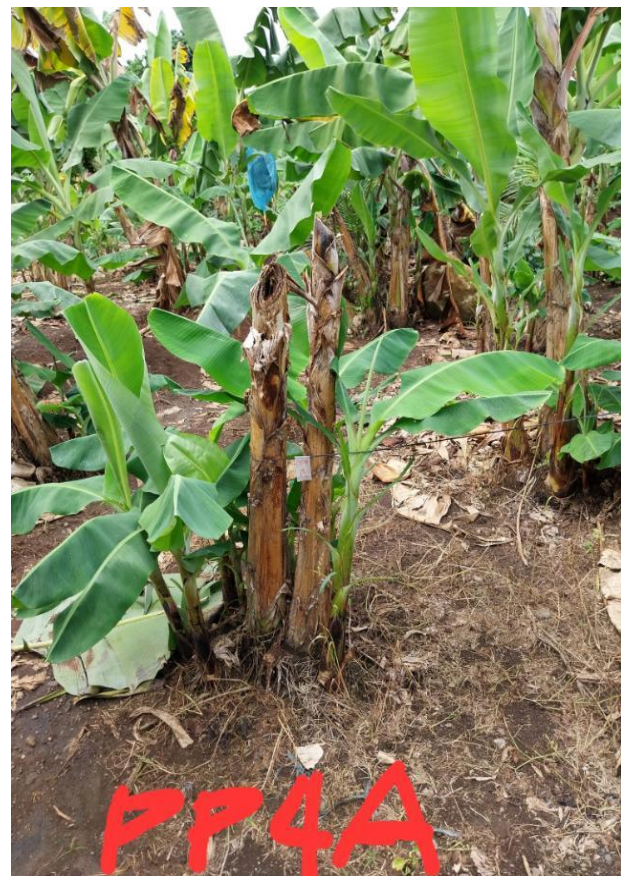
<モニター検証> **有機ヤマゲン散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ **予防目的** *罹病した木との距離1.8m

◎コメント: こちらも同様にヤマゲン散布1ヶ月でTR4に感染する事なく、バナナの木・葉ともに確実な成長が見られる。

◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp4-a

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防◎】 case-5

<モニター検証> **有機ヤマゲン散布**経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ **予防目的** *罹病した木との距離2.2m

◎コメント: TR4に感染する事なく、バナナの木・葉ともに安定した成長が見られる。

◆2023.11.23 (初回)

◆2023.12.6

◆2023.12.15

◆2024.1.18



Sample:pp6-a

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防◎】 case-6

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離1.3m

◎コメント: エリア内周辺に一部TR4感染した木があるにも関わらず、ヤマゲン散布により感染せずに成長している。

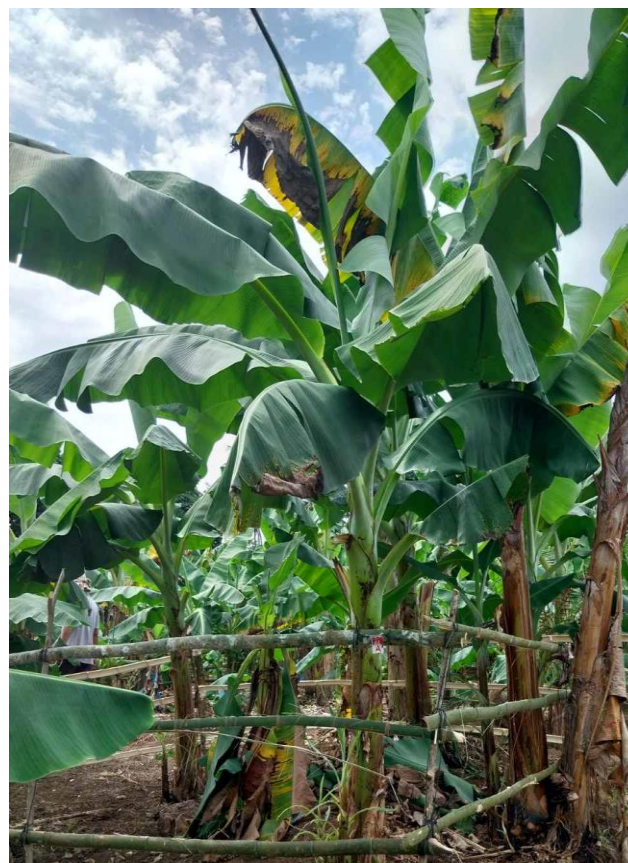
◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



@Bacaro Farm (ローランド)

【予防◎】 case-7

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離1.2m

◎コメント: 葉の一部でTR4感染の疑いが見受けられたが、現状進行せずに有機ヤマゲンにより感染を食い止めている。

◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp10-c

@Juinio Farm (ハイランド)

【予防×】 case-1

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離3.1m

◎コメント: 罹病した中心の木から3mと距離はあったが、残念ながらTR4に感染してしまった。

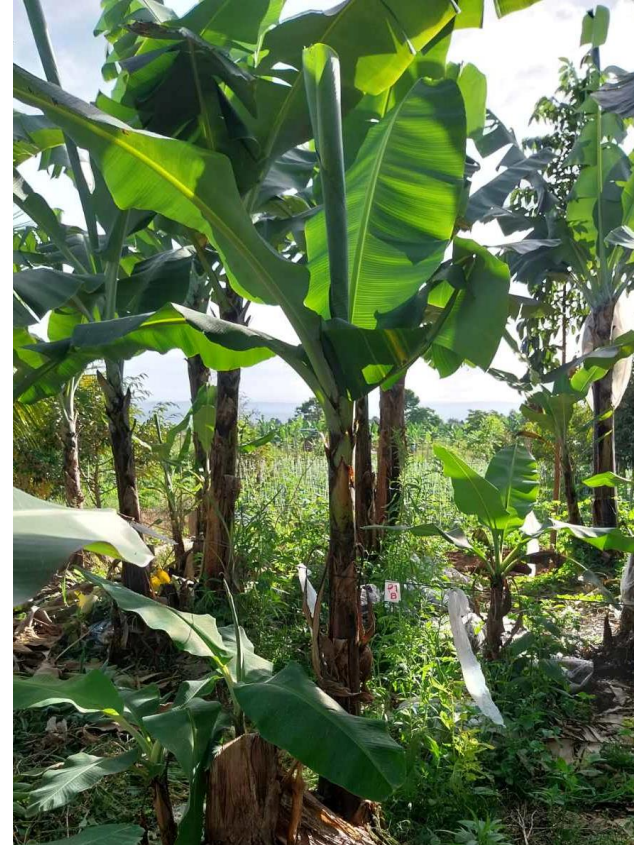
◆2023.11.21 (初回)



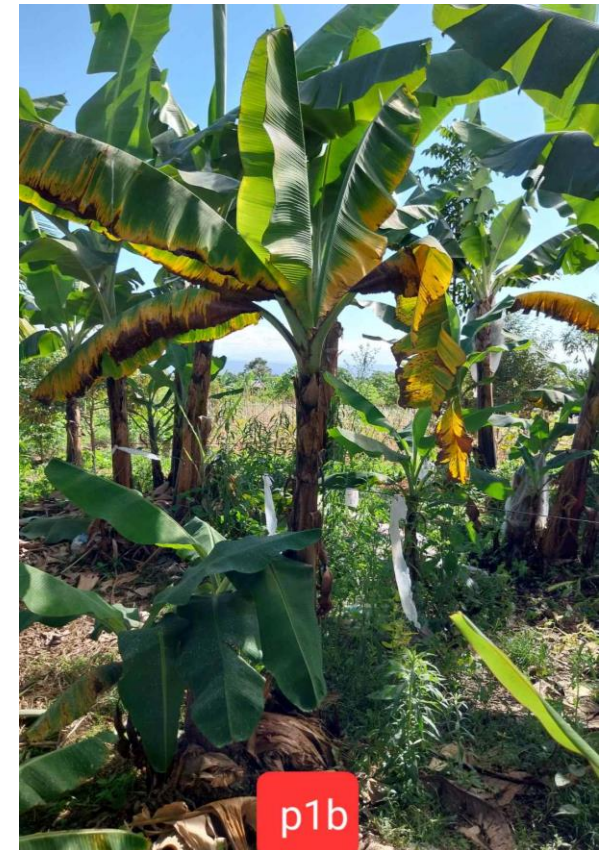
◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp1-b

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防×】 case-2

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離2.1m

◎コメント: 初回の段階で葉の一部に感染が疑われていた。やはり、約1ヶ月足らずだったがTR4の感染を防ぐ事は出来なかった。

◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp8-d

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防×】 case-3

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離2.1m

◎コメント: 早い段階で葉が黄色く変色し、葉も枯れ落ちた。よってTR4の感染を防ぐ事は出来なかった。

◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp8-e

@Bacaro Farm (ローランド)

【予防×】 case-4

<モニター検証>有機ヤマゲン散布経過観察 (100%罹病した木の周辺の木) ⇒ 予防目的 *罹病した木との距離1.9m

◎コメント: すでにTR4感染かと思われていた木。やはりすでに感染していた為、ヤマゲン散布しても効果がなかった。

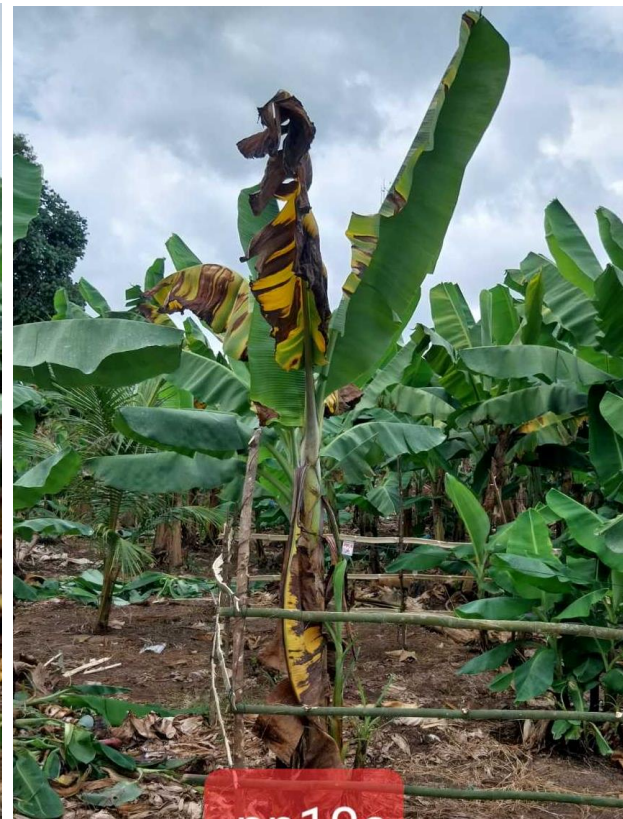
◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:pp10-a

@Juinio Farm (ハイランド)

【比較】 case-1

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察⇒比較対照目的

◎コメント: 有機ヤマゲンを散布しない場合、TR4の進行はエリア内で早く感染は広がりを見せ、早い段階の内に葉は変色し、枯れは果て最終的に1ヶ月弱で茎も倒れた。

◆2023.11.21 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp2

@Bacaro Farm (ローランド)

【比較】 case-2

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察⇒ 比較対照目的

◎コメント: このエリアはTR4感染スピードは早く、約1ヶ月でエリア内は崩壊し始めている。

◆2023.11.23 (初回)



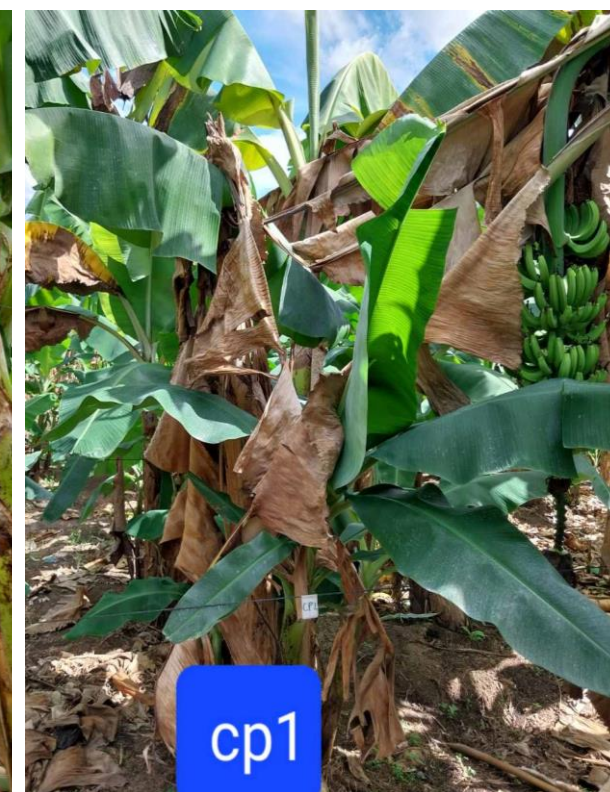
◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp1

@Bacaro Farm (ローランド)

【比較】 case-3

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察⇒ 比較対照目的

◎コメント: 有機ヤマゲンを散布しない場合、TR4による葉の変色は早く、半月で一部の木は枯渇し、エリア内の変色も段々と進行している。

◆2023.11.23 (初回)



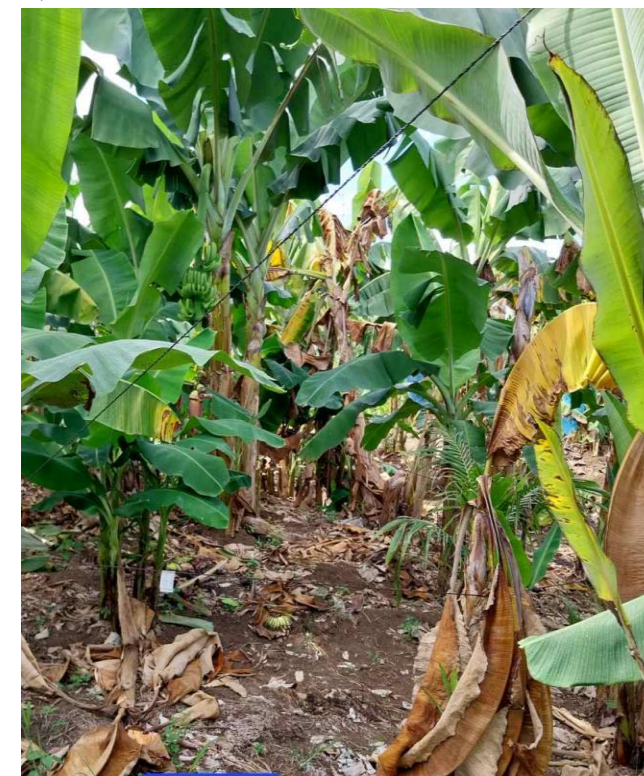
◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp5

@Bacaro Farm (ローランド)

【比較】 case-4

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察 ⇒ 比較対照目的

◎コメント: すでに重度のTR4感染の木はすぐに枯渇して倒れ、それと並行して周辺にも感染は広がっている。

◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp7

@Bacaro Farm (ローランド)

【比較】 case-5

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察 ⇒ 比較対照目的

◎コメント: すでに重度のTR4感染の木はすぐに枯渇して倒れ、それと並行して周辺にも感染は広がっている。

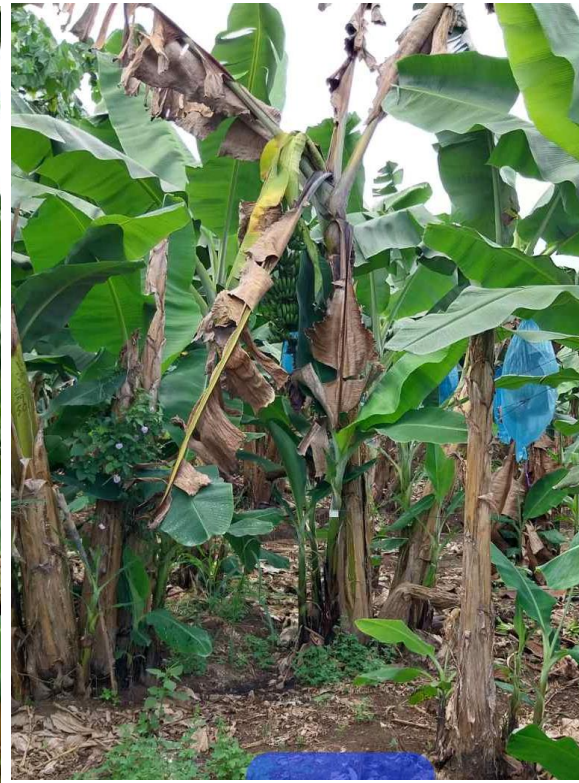
◆2023.11.23 (初回)



◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp9

@Bacaro Farm (ローランド)

【比較】 case-6

<モニター検証>有機ヤマゲン散布していないエリアにてTR4進行の経過観察 ⇒ 比較対象目的

◎コメント: TR4に感染した重度の木はすぐに枯渇して倒れ、それと並行して多少距離のある周辺の木にも感染は広がっている。

◆2023.11.23 (初回)



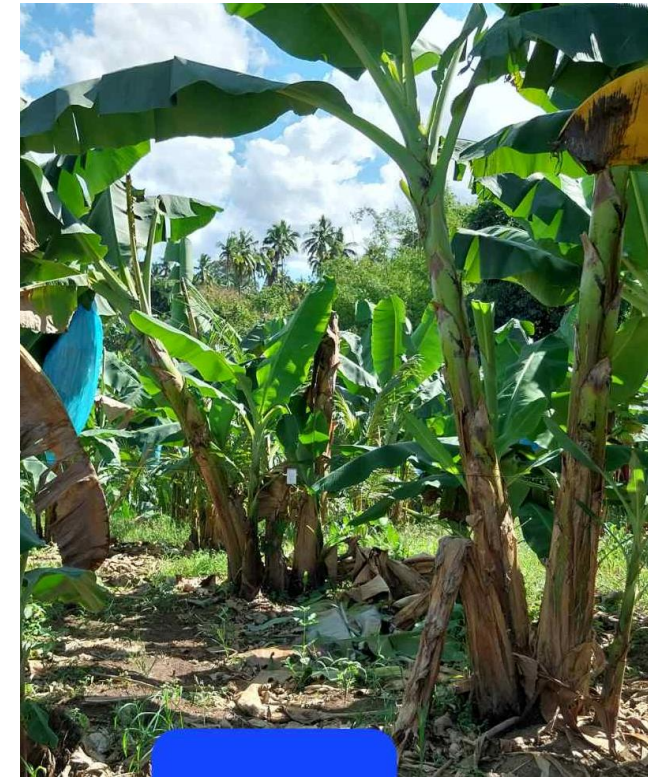
◆2023.12.6



◆2023.12.15



◆2024.1.18



Sample:cp10